

# 英文學評論

## 第 XXI 集

- 「簡素によせる頌」注解 …………… 酒 井 幸 三  
——コリンズにおける自然観の背景——
- イエイツの劇的なる精神をめぐって …………… 長 谷 川 年 光
- ロレンス小説のひとつの意味 …………… 奥 村 透  
——『息子と恋人』から『恋する女たち』まで——
- J. M. マリの文体論 …………… 角 倉 康 夫

京都大学教養部英語教室

## 目次

「簡素によせる頌」注解……………	酒井幸三……………	(一)
——コリンズにおける自然観の背景——		
イエイツの劇的なる精神をめぐって……………	長谷川年光……………	(七)
ロレンス小説のひとつの意味……………	奥村透……………	(二三)
——『息子と恋人』から『恋する女たち』まで——		
J・M・マリの文体論……………	角倉康夫……………	(二八)

## 編集後記

いろいろの都合でおかれていた第二十一集も、どうにかお届けできるはこびとなった。学年末から新学年にかけてのもっとも多忙な時期に、執筆・寄稿いただいた諸氏に感謝する。

以前とは異なり、われわれの研究発表の場は今日では決してすくなくない。本学だけでも、この「評論」のほか、教養部人文科学諸教室を中心とした「人文」などがあるが、他にも学術研究誌、学界機関誌、同人誌などと数えてゆけば、相当数のほぼであるろう。しかし、多くのばあい、分量などの制限を受けざるをえないようである。そうした点を考慮して、「評論」ではかなり大部な論攷も事情の許すかぎり掲載するよう努めてきた。前号、本号においても、百枚近い、あるいは百枚をこえる論文を幾篇か掲載できた。

文学部の中西先生が本年三月末停年退官され、研究室で先生の温顔を拝することはできなくなった。時を同じくして、当教室の酒井健三氏が平安女学院の院長に就任された。両先生のご健勝、ご発展を祈ってやまない。他の教室の動静については、四月、酒井氏の後任として新進気鋭の三宅卓雄氏がみえ、また二月渡米、アメリカの各大学を視察中であつた寺田氏が五月なかば帰学された。なお九月には青木氏が渡米、前後して、目下外遊中の竹森、喜志両氏が帰学されるほか、U.C.L.A. のインキントッシュ博士が来学の予定である。(編集委員)

## 英文学評論 第二十一集

非売品

昭和四十二年八月二十五日 印刷  
昭和四十二年八月三十一日 発行

編集者 京都大学教養部英語教室 清

代表者 森

印刷所 明文舎印刷株式会社

京都市南区吉祥院池ノ内町

発行所 京都大学教養部英語教室

京都市左京区吉田二本松町

# REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

Volume XXI August 1967

---

## CONTENTS

- A Commentary on Collins's  
    ' Ode to Simplicity ' ..... *Kôzô Sakai*
- Yeats the Poet and Dramatic Sense  
    ..... *Toshimitsu Hasegawa*
- A Meaning of D. H. Lawrence's Novels ..... *Tôru Okumura*  
    — From *Sons and Lovers* to *Women in Love* —
- J. M. Murry on Style ..... *Yasuo Kadokura*
- 

ENGLISH DEPARTMENT  
COLLEGE OF LIBERAL ARTS  
KYOTO UNIVERSITY